

タイトル 「令和5年度地区研究発表」

学校名 神奈川県立湘南台高等学校PTA

講演テーマ 「3Dをモットーに♪ ～できる時にできる人ができることを～」

1 はじめに (学校紹介)



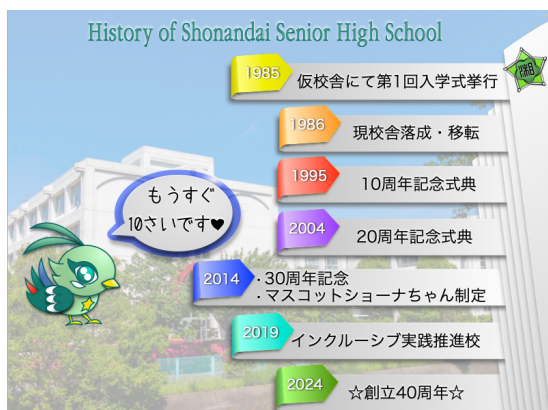
来年創立40周年を迎える湘南台高校（1985年開校）は、目の前を引地川が流れる藤沢市円行で、小田急、相鉄、横浜市営地下鉄の3つの路線が乗り入れる湘南台駅からは徒歩数分ととても交通の便の良い場所に立地しています。

教育目標に「自律 創造 敬愛 協調 健康」の5つを掲げ、生徒が夢や目標に挑戦できるよう、教育活動を展開しています。2019年度から「インクルーシブ教育実践推進校」に指定されています。

校章は湘南台の湘の字を中央に輪郭は藤沢市の木、黒松の葉をデザインしています。教育目標の5つを五角形にして黒松の葉につなげており、グリーン濃淡は本校の限らない発展と安定を表しています。



【プロフィール】



2 ショーナちゃんについて

正門から正面玄関を入ると真っ先に「ショーナちゃん」出迎えてくれます。



「ショーナちゃん」は、創立30周年記念事業で決まったマスコットキャラクターです。2013年に生徒会で募集し、生徒と職員による投票の結果決まった生徒のデザインによるものです。



元気なヒバリの女の子で音楽が大好き。左右にはなたくせつ毛(?)がチャームポイントです。

全体のイメージカラーは校章の緑色と胸には校章をイメージした星マーク。とさかはクロマツの葉、尾羽根は学年色3色になっています。

3 インクルーシブ教育実践推進校について

「インクルーシブ教育実践推進校」は、誰もが大切にされ、いきいきと暮らせる「共生社会」をめざして、みんなで一緒に過ごすなかで、お互いのことをわかりあって成長していくことを目標にしています（神奈川県 HP より）。

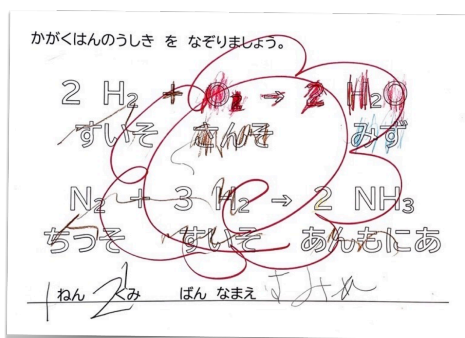
湘南台高校は2019年に「インクルーシブ教育実践推進校」に指定されました。以来、誰もがわかりやすく過ごせるよう校内のあらゆる場面に応じて「構造化」「視覚支援」「環境調整」に取り組んでいます。今回は「特別に」娘の許可を取りましたので、登校の様子をご覧ください。

インクルーシブ教育 実践推進校



もちろん生活面だけではなく、学習面においてもチーム・ティーチングの導入、適切な個別最適化と合理的配慮の提供によりインクルーシブ特別募集の生徒だけでなく、生徒全員が学校生活を送りやすいように常に工夫をされています。

ここでも「特別に」娘の許可をもらいましたので、定期テストにおける実践例をご覧ください。



普通科の高校における学習指導要領の範囲であっても、ここまでの個別最適化と合理的配慮が可能であることは、これからの共生社会にむけての大きな可能性を秘めていると強く感じます。

4 PTA活動について



本校のPTA活動は、【安全委員会】、【環境委員会】、【成人委員会】、【学年委員会】、【広報委員会】、で本部役員と共に【運営委員会】を開催しています。
～各委員会の活動紹介～

① 安全委員会の活動内容

- ・ 生徒の安全な学校生活をサポート
- ・ 交通安全活動への参加

安全委員会の役割として『地域自治体や他校本校の先生方、他校委員会との共有しながら交通安全や防犯等生徒に伝達する役目』があります。

主な活動は、年4回交通安全推進会議等の出席や年2回夏、冬の夜間パトロール、さらに、コロナ対策緩和により湘南台駅周辺にて街頭キャンペーンに参加しました。

自転車走行等の交通ルールをうちわで配布し、下校中の生徒達との交流も出来ました。

これからも交通安全への意識向上を伝えられるよう地域活動に参加し続けることが必要と考えられます。

そのためには、今後も多くの保護者の皆さまのご協力を得て進めていけるよう願っております。



② 環境委員会の活動内容

- ・校内に季節の花々を植えます
- ・生徒と共に地域貢献清掃活動
- ・鉢植え花壇の植え替え手入れ

環境委員会は、情操教育と癒しの提供をする活動をしております。

正門近く、校内花壇に季節ごとの花々を植え、手入れをしており、常に癒しの空間を作ることを心がけております。特に学校行事のある直前には、お花の量を増やし、華やかな演出を毎回しております。お花を枯らすことなく咲かせ続けることは難しくもありますが、工夫をしながら協力し合い活動しています。

卒業式の際は、会場設置、正門の飾りを担当しており、卒業生を送り出しています。

また、生徒と地域住民の関わりとして年2回公園の地域貢献清掃活動も行っています。

お花の知識が増え、皆で楽しく活動しています。



③ 成人委員会の活動内容

- ・湘風祭での手芸コーナーの運営
- ・会員間の親睦を図るための催しを企画運営

成人委員会は、保護者間の親睦を図るための行事を企画し運営します。

毎年、湘風祭では保護者のみならず、地域の方にも参加いただけるハンドメイドワークショップを行なっています。

今年度は誰でも簡単にできる「くるみボタン」の作成を企画しました。また、12月には観劇会を開催します。コロナ禍に行えなかったランチ会を同時開催し、数年ぶりに保護者同士の交流の時間が持てるようにしました。今後の目標は過去に行っていたクラフト教室などの企画も立て、たくさんの人と関わり合えるような活動をしたいと思っています。



④ 学年委員会の活動内容

- ・体育祭・球技大会での差し入れ
- ・湘風祭での休憩コーナーの運営

学年委員会は、体育祭、球技大会(年2回)で子どもたちに飲み物を配布し、湘風祭では休憩所で飲み物を提供しています。昨今の熱中症対策とコロナ対策を兼ねて、ジャグのお茶からペットボトル

ルのスポーツドリンクに変更しました。

子どもたちと関わったり、普段とは違い楽しんでいる姿を見ることが出来る委員会です。

また、以前は湘風祭で制服のリユースを行なっていましたが、2020年に制服のデザインが変更となり、リユースができない期間がありました。前年度の卒業生からリユースを再開しています。

今後も続けていきたいと思えます。



⑤ 広報委員会の活動内容

・学校行事やPTA活動の取材を行い広報誌を発行

広報委員会では、年に2回広報紙「湘南台高校」を発行し、PTA会員と地域の方々や他校に配布しています。

広報紙を発行する目的は、湘南台高校のPTA活動と生徒の様子を正確に伝える事です。学校の良さや特徴、PTA活動を認知してもらう事で、湘南台高校のより良いイメージを伝えたいと思っています。

学校行事やPTA活動の取材や記事を作る過程で、家庭からはなかなか伺えない子どもの様子を垣間見たり、保護者同士のつながりができるメリットもあります。

来年度は広報紙の発行が100号を迎える予定です。歴代の広報紙の紹介などを通じて、学校や生徒たちの移り変わりや歴史を感じてもら

えるような紙面作りを目指していきたいと思えます。



⑥ PTA本部の活動内容

・委員さえ決まれば本部が決まる！

本部役員の役割は【学校と保護者をつなぐパイプ役】です。委員決めの際、入学式ではアンケートを元にお声かけする程度にしています。6月の懇談会で追加募集をすることで、各委員会の人数を確保しています。

特徴としては、本部役員は委員会からを選出している点です。本部役員は、難航することが多いと思いますが、各委員会の委員を受けている方は、PTAに協力的な方が多いので、本部へのお声かけした時に受けてくれる方が多く、本部役員の決定がスムーズです。つまり、各委員が決まれば自動的に本部役員が決まってゆくシステムになっています。

普段の活動においては、委員会活動との両立が難しくなることもありますが、委員会から本部役員を出しているため、本部とのパイプが密になり、話しが通じやすく、そのため、運営委員会での各委員会と学校側との意見交換を筆頭に、保護者の要望や意見を学校側に伝え解決・改善に取り組むなど、スムーズなコミュニケーションと本部の人手の確保が同時に叶えられています。

また、本部役員と先生方はグループLINEを活用し常に円滑なコミュニケーションを行っています。



6 さいごに

来年度、本校は40周年記念を迎えるにあたり学校とともに記念事業を準備しています。前回の30周年記念事業を参考にするうえで、資料や広報などを調べていると、今まで知らなかった学校の歴史に触れることができ興味深いです。

コロナ禍も落ち着き、行事もできるようになりましたが、以前のことをそのまま戻すのではなく新しいやり方を模索しながらPTA活動を続けていこうと考えています。

今後も「3D モットーに♪～できる時にできる人ができることを～」楽しく活動していきたいと思います。有難うございました！

